

# 社会福祉法人ばなな 後期業務執行状況報告

平成30年度 10月～03月（年度報告）

報告者：理事長 今井 清行

文責：業務執行理事 山口 和博

## 1. 役員会等開催状況

### ア、評議員会

開催なし

### イ、理事会

平成30年10月 3日（水）

第60回理事会開催 決議省略

【議案】①入札参加資格及び入札参加業者募集の公告事項（案）について

②着工までのスケジュールについて

平成30年10月31日（火）18：00～ サポートセンターはなのこみち

第61回理事会開催

出席理事：6名中6名 出席監事：2名中2名

【議案】①平成30年度前期業務執行状況報告について ②規程の変更について

③入札参加申請業者の資格審査及び選定について ④現場説明事項について

⑤サニー・ばなな建設予定価格について ⑥入札立会者の人選について

⑦サニー・ばなな管理者選任について

平成30年12月 5日（水）

第62回理事会開催 決議省略

【議案】①サニー・ばなな建設工事請負契約について

②第一次補正予算（案）について

平成31年 3月27日（水）15：00～ サポートセンターはなのこみち

第61回理事会開催

出席理事：6名中6名 出席監事：2名中1名（仕事のため欠席）

【議案】①平成30年度最終補正予算（案）について

②平成31年度当初予算（案）について

③平成31年度事業計画（案）について ④規程の変更について

⑤（社福）カトリア会吸収合併について

### ウ、監査

①堺市実地指導（障害福祉サービス関係）→ な し

②堺市法人指導監査（法人会計・運営等）→ な し

## 2. 理事長専決事項 《職務権限分掌細則に基づく》

### ア、職員採用・退職状況

#### 【採用】

- 非常勤職員：女 性 → 平成30年11月 1日付：グループホーム配属（事務）
- 非常勤職員：男 性 → 平成30年10月27日付：グループホーム配属（夜勤）
- 非常勤職員：男 性 → 平成30年 3月21日付：グループホーム配属（夕方）
- 非常勤職員：女 性 → 平成31年 2月 1日付：グループホーム配属（夜勤）

#### 【退職】

- 常勤職員：女 性 → 平成31年 1月31日付（期間14年9ヶ月）
- 常勤職員：男 性 → 平成31年 3月31日付（期間12年）
- 非常勤職員：男 性 → 平成30年10月31日付（期間 7年2ヶ月）
- 非常勤職員：女 性 → 平成31年 1月31日付（期間 4年8ヶ月）
- 非常勤職員：女 性 → 平成31年 1月31日付（期間 2年10ヶ月）
- 非常勤職員：女 性 → 平成31年 2月28日付（期間 1年5ヶ月）

平成30年度職員平均在職年数：6年 7ヶ月

### イ、契約関係について 《固定資産取得内容等》

なし

### ウ、懲戒について《就業規則第52条に基づく》

なし

## 3. 内部管理体制の運用状況 《法人組織内業務執行状況》

ア、事務局会議開催（毎月第一水曜日定期開催） → 管理者及び事務局が参加  
《参加者》理事長・各管理者・事務局長

#### ① 平成30年10月 3日（水）開催

- 【議題】 1、クリスマスクッキーセットのクッキー製造体制について  
2、防災について 3、法人内研修について 4、サニー・ぱななについて  
5、ひやりはっと報告書について 6、各管理者より報告

#### ② 平成30年11月 7日（水）開催

- 【議題】 1、職員交換実習スケジュールについて 2、次回理事会について  
3、グループホーム入居者が使用する消耗品について 4、研修について  
5、査定管理シートについて 6、各管理者より報告

#### ③ 平成29年12月 5日（水）開催

- 【議題】 1、研修報告「働き方改革」について 2、賞与査定方法の変更について  
3、アメニティー・フォーラム参加について 4、法人新年会日程について  
5、各管理者より報告

④ 平成31年 1月18日（水）開催

- 【議題】 1、GW（10連休）の開所日について 2、平成31年度事業計画等について  
3、平成31年度職員代表について 4、有給休暇消化について  
5、車両使用のルールについて 6、平成31年度職員配置体制について  
7、各管理者より報告

⑤ 平成31年 2月 6日（水）開催

- 【議題】 1、平成31年度職員配置について 2、常勤職員会議の在り方について  
3、今後の体験室活用法について 4、夜勤支援員と新規採用職員について  
5、各管理者より報告

⑥ 平成31年 3月 6日（水）開催

- 【議題】 1、サニー・サイト自力通所者について 2、常勤職員会議からの報告について  
3、サニー・ばなな建設進捗状況について 4、サニー・サイト看板について  
5、グループホームバックアップ体制について 6、体験室活用方法について  
7、平成31年度職員配置体制について 8、各管理者より報告

イ、虐待防止委員会

- ① 後期（10月～3月）は、虐待事案が発生しなかったため、委員会は未開催。  
② 虐待防止研修会（規程第17条第1項）については、平成30年 8月29日（水）18：00から開催。各事業所の常勤職員がまとめた、5つの虐待内容を資料やグループワークを通して、研鑽を深めた。法人全体として23名の職員が研修を受講した。また、平成31年度は、規程17条第4項により、7月ごろに家族会との合同研修を企画。なお、セルフチェックリスト（法人全体分）については、当法人ホームページにて結果を公表中。

ウ、防災・減災委員会 《年度報告》

各事業所職員の代表1名が中心となって、毎月、参集し、災害時の対応マニュアルの策定にむけて協議及び検討を行った。

《参加者》 管理者・各副主任

①平成30年 4月18日（水）開催

- 【議題】 1、平成30年度の年間計画について

②平成30年 5月16日（水）開催

- 【議題】 1、災害時における連絡方法について 2、9月の法人全体（防災）研修について

③平成30年 7月 5日（木）家族会合同開催

- 【議題】 6月18日（月）に起きた地震後の法人としての対応について

④平成30年 7月11日（水）開催

- 【議題】 1、法人全体（防災）研修打ち合わせ報告 2、防災マニュアルの見直し

### 3、家族会報告

⑤平成30年 8月22日(水)

【議題】1、9月の法人全体(防災)研修について 2、法人としての備えについて

⑥平成30年 9月19日(水)

【議題】1、9月の法人全体(防災)研修について 2、災害時における参集基準について  
3、法人本部の備蓄用の食糧について

⑦平成31年 3月12日(火)

【議題】1、現在の非常食の財源と在庫数について 2、非常用の物品準備と活用について

### 4. 事業計画・予算進捗状況 + 《短期目標進捗状況報告》

ア、モンキーばなな(生活介護⑩名定員+就労継続支援B型⑩名定員)

125%→生活介護12.5名+就労継続支援B型12.5名	『 』は前年度実績
【3月末現在】 269日間開所	『265日間開所』
生活介護事業 (15名契約) 平均利用者数→11.99人	『10.95人』
就労継続支援B型事業 (4名契約) 平均利用者数→3.12人	『4.49人』

4~3月(年間) 月平均収入¥4,659,371	全体平均出勤率→79.6%
『¥4,136,362』	『81.0%』

【進捗状況】

令和元年7月に開所する、「サニー・ばなな」との2拠点体制での運営に向けて、管理者から事業所運営に欠かせない業務引継ぎが進行中であり、現場職員に至っては、日常プログラムの確立に向けて、日々、模索しながらより良い、日常生活が送れるように検討と工夫を重ねている次第である。いずれも、副主任を中心とした、職員集団で任に当たっており、判断業務ができる能力及び資質向上に向けて、時間を作りながら、一つ一つの業務が習得できるように、今後も研鑽を積み上げていかななくてはならない。経営については、ご本人のニーズ等を踏まえ、就労継続支援B型から生活介護へと契約変更される方が2名いらっしゃったため、収益増の結果となった。

イ、サニー・サイト(就労継続支援B型⑭名定員+生活介護⑥名定員)

125%→就労継続支援B型17.5名+生活介護7.5名	『 』は前年度実績
【3月末現在】 269日間開所	『268日間開所』
生活介護事業 (8名契約) 平均利用者数→5.75人	『6.43人』
就労継続支援B型事業(16名契約) 平均利用者数→10.73人	『11.53人』

4~3月(年間) 月平均収入¥3,668,280	全体平均出勤率→62.0%
『¥4,062,074』	『71.8%』

## 【進捗状況】

職員集団（チーム）としてのまとまりも出始め、一昨年の重苦しい雰囲気は、事業所としても、払拭された感がある。また、クリスマスセットの販売数は過去最高を記録し、事業所（法人）が一丸となって、取り組むことができた結果の表れと思われる。反面、利用者の加齢に伴う、体力低下等でクッキー作業に入られない方が続出し始め、職員の負担増加が見えてきている。利用者の作業内容の検討やプログラムの見直し、さらには、利用者の新陳代謝（若返り）も図りながら、就労継続支援B型事業所としての意義を問い直す時期が到来しているので、中期目標や長期目標で、在るべき事業所像を明確にしていく必要がある。経営については、年度当初の4月上旬に1名が当事業所の就労継続支援B型から他事業所の就労継続支援A型に移籍されたことと、全体的に利用率が向上しなかったため、大幅な減益となってしまった。今後は、利用率の低い方へのきめ細かいアプローチとともに、新規利用者の契約を増やしていく必要がある。

## ウ、らふたあ（居宅介護＋移動支援＋介護保険）

【3月末現在】 利用契約者数：56名（但し、移動支援は重複）（法人外契約は27名）  
（4月～3月までの平均稼働時間数と総稼働時間数） 『 』内は平成30年度実績

ア、居宅介護（身体・家事）⇒	134h・1,609h	『173h・2,075h』
イ、重度訪問介護	⇒ 261h・3,140h	『330h・3,963h』
ウ、移動支援	⇒ 522h・6,271h	『553h・6,638h』
エ、介護保険	⇒ 82h・989h	『98h・1,179h』

※必要サービス提供責任者数⇒ 2.1名（常勤専従2名と兼任常勤1名：2.5名確保）

（4月～3月までの登録ヘルパー平均総支給額と総支給額）

月平均：1,409,981円 『1,439,489円』  
年間総支給額：16,919,772円 『17,273,872円』

## 【進捗状況】

平成30年度の中期目標に掲げていた、登録ヘルパーの養成については、時期を前倒しし、無資格の日中系職員に対して、今年より初任者研修受講を依頼し、資格取得後は、グループホーム入居者の余暇活動支援の応援に入ってもらおう予定となった。また、法人外部からの依頼についても、現在、他事業所から紹介してもらった、ヘルパーにも初任者研修の資格取得後に、サービス提供を実施していく予定となっている。収支については、総サービス提供時間に対して、手厚い体制（常勤職員3名）を配置していたが、職員配置を是正（適正值）した結果、赤字幅は縮小傾向となってきている。本来は収支差額が残る事業なので、平成31年度中には、黒字決算となるように、今後も、注意深く、サービス提供時間と収支状況を見守っていく次第である。

## エ、サポートセンターはなのこみち（グループホーム）

【3月末現在】入居契約者数：10名【空き室なし】 『 』内は平成30年度実績  
共同生活援助事業 延べ入居者数＝3,256名（10名契約）平均入居者数→ 8.9人  
『3,082名（9名契約）平均入居者数→ 8.4人』

4～3月（年間）月平均収入¥2,746,906

居室稼働率→89.2% →※①

『¥2,178,033』

『居室稼働率→84.4%』

【※①計算式】

居室数10室×期間（4～3月＝365日間）＝3,256 3,256名÷3,650室

【進捗状況】

昨年度より、継続して体験入居をご利用されていた方が、平成30年 6月1日付より、本契約となり、女性1名が入居されることになった。それまで赤字経営となっていた、グループホームの経営も収支がある程度、安定することとなった。また、日中系職員の入浴ヘルパーとしての応援体制もほぼ、毎日のペース（18時間の方と23時間の方）で、駆けつけている体制が整ったので、入居者の方々も、見慣れた職員が来ることにより、安心された表情と生活が送れている1年となった。共同生活援助の新たな類型である、日中支援型については、他法人との情報交換や分析の結果、全国的にもあまり例がなく、さらには、取得後にまた、既存の指定に戻ったケースもあったとのことで、制度の見直し等が実施されるまでは、事業指定を見送る方針である。

オ、サポートセンターはなのこみち（相談支援）

『 』内は平成30年度実績

【3月末現在】契約者総数：52名

《障害種別》

	身 体	知 的	精 神	合 計
男 性	6名	18名	4名	28名
女 性	8名	16名	0名	24名

《利用事業所別》

モンキーばなな	サニー・サイト	はなのこみち	法 人 外	合 計
15名	12名	10名	15名	52名

『53名』

《新規契約者数》

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0件	0件	0件	1件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	0件	0件	2名

『6名』

《契約解除者数》

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0名

『5名』

## 【進捗状況】

一昨年度まで、手厚い体制（常勤職員専従2名以上）により、取得できていた「特定事業所加算」の加算部分が減収となり、大幅な赤字となってしまった。また、拠点区分移動での資金供与も、施設整備での支出があるため、一旦、累積分を清算し、平成31年度予算からは、サービス区分間移動に改めての経営となる次第である。（居宅介護サービス区分より資金移動）平成31年度事業計画からは、再度、「特定事業所加算」取得を目指し、職員配置体制を見直し、適正配置を維持したまま、効率運営ができるように、体制を整えていく次第である。

## 5. 地域公益事業

### ①福祉フェスティバル

堺市内の障害福祉サービス事業所（12団体）が集まり、実行委員会を立ち上げ、平成30年11月23日（祝）にJR阪和線「百舌鳥駅」近くの夕雲公園にて「第24回福祉フェスティバル」を開催。地域住民を始め、多数の市民にお越しいただき、障害者福祉の歴史や取組みを紹介すると共に、地域福祉の啓発運動を地域住民と一体になって行った。また、相談支援事業所（当法人含む）が参加し、一般相談受付も同時に開催することができた。参加人数は約4,500名。（抽選券4,400枚完売）当法人は昨年度より、100食増加で、たこ焼きを300食用意。法人職員21名体制にてイベントの運営に貢献することができた。

## 6. 他法人（団体）との連携・交流

### 【 連携法人 】

- ① （社福）堺あけぼの福祉会 理事1名
- ② （社福）カトレア会 監事1名
- ③ （社福）障友会 評議員1名

### 【 連携団体 】

- ① 堺市小規模法人連絡会：（平成18年より加盟）  
堺市内の小規模法人（11ヶ所）と偶数月に定期連絡会を開催し、情報交換を行う。
- ② 堺障害児・者施設部会：（平成18年より加盟）  
毎月、部会及び役員会へと交互に参加。
- ③ 堺市中区自立支援協議会：（平成30年度より参加）  
中区内の相談支援事業所代表（幹事）として、運営等の協議に参加。
- ④ 堺市相談支援ネット  
法人会員として参加。